

破碎・粉碎分野専門に 60余年の技術を蓄積

オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン



ランナー用粉碎機（左）、自動車バンパー用破碎機（右）

業務内容
各種破碎機の製造から
プラント設計まで

さまざまな物質を数センチから1mmの大きさに砕く破碎機・粉碎機を製造するホーライ。対象物は、ペットボトル等のプラスチック製品を筆頭に、自動車部品、タイヤ、電線、フィルム、プリント基板、医療用廃棄物等、あらゆる分野に及ぶ。

創業当初は、プラスチック加工工程等で出るロス品を破碎して成形ラインに戻す機器が主体だったが、徐々に対象を広げ、最近ではリサイクル品原料の製造や廃棄物の処理を行う機器・プラントも多数手掛けている。現在は成形分野とリサイクル分野を2本柱とし、多様な標準機（既製品）を生産すると共に、顧客から受注したオーダーメイド品の製造、プラントの設計・開発まで幅広く担う。



多様な破碎機・粉碎機が製造されている

強み
ニーズを実現できる
技術力と安心のメンテカ

同社の強みの一つは、プランニングからメンテナンスまで1社で顧客のニーズに応えられる点だ。あらゆる対象物を破碎・粉碎する機器を自社開発できる技術を有し、周辺装置も含めたトータルなラインを構築できる。例えば、電柱等を使用されている有

害なPCBを含むトランスの処理では、解体・粉碎部門を同社がトータルで請け負っており、「国内シェア100%」を得ている。

また、アフターサービスにも注力。カッターのメンテナンス用の人員を大阪・東京・名古屋に配し、対応している。

特化技術
長年の技術の蓄積で
国内シェア約70%に

同社の製品は多岐にわたるが、すべて鋭利なカッターで切り砕く「せん断式粉碎技術」を採っている。同じ原理に特化することで、あらゆるものを最適な状態に破碎・粉碎できる技術を長年にわたって蓄積してきた。

ペットボトルを例にとれば、単に細かくして減容するだけでなく、ラベル・キャップ等の選別や、附着物の洗浄等を確実に行うことで、良質な再生品の原料となる。同社のペットボトル再生プラントは、国内シェアの約70%を占めるといわれ、その実績から東大阪市の認定する「東大阪ブランド」にも選ばれた。

今後の展望
リサイクルと次世代素材
に独自の技術を活用

今後の目標は、プラントメーカーを下支えできる技術力やメンテナンス力の向上。そして液晶パネル用PVAや太陽電池封止材用EVA等、成長分野の素材用粉碎機の販売にも力を注いでいく方針だ。

また、東大阪の企業5社が共同で取り組むCFRPのリサイクルシステムの研究・技術開発にも参加。今後も、こうした新素材の研究を続けていく考えだ。

COMPANY PROFILE

株式会社ホーライ

大阪
23

当社の
歴史

約60年前、創業社長が工場廃材を見て「もったいない」と気づき、プラスチック用粉碎機を開発したのがスタートでした。プラスチック製品の多様化にあわせて当社製品も充実、リサイクル社会を象徴する「もったいない」という言葉は今や流行語です。創業社長の精神を受け継いで、これからもリサイクルのリーディング企業として歩んでいきたいと思ひます。

「もったいない」の精神で、お客様の
ご要望に沿う製品とサービスを届けます

代表取締役 鈴木 雅之さん



■主な事業内容

ゴム・プラスチック用粉碎機、一般廃棄物・産業廃棄物用破碎機、し渣用破碎機、化学製品・合成樹脂用粉碎機、空気輸送装置、定量供給機、脱水・洗浄機の製造・販売等

■主な取引先（納入先）

化学メーカー、鉄鋼メーカー、自動車メーカー、造船・重機メーカー等

住 所／〒577-0066

東大阪市高井田本通
2-3-10

T E L／06-6782-1281

F A X／06-6782-4718

創 業／昭和24年4月

設 立／昭和35年6月

資本金／3,600万円

従業員／167名

<http://www.horai-web.com>